

# 地球温暖化防止

ムラタでは、事業活動で排出されるCO<sub>2</sub>を中心に、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの削減に取り組み、生産設備の省エネルギー化などを進めています。

**実質生産高原単位とは？**  
生産高(金額)を日銀が発表している企業物価指数で調整した値あたりのCO<sub>2</sub>排出量を表す値で、JEITAの共通指標です。この値が低下すれば、一定量(金額)の製品を、より少ないエネルギーで生産できたことを示しています。

**ダブルバンドルターボ冷凍機とは？**  
冷水製造時に発生する余剰廃熱の熱回収を行うことにより、冷水と温水を同時に取り出すことができる設備です。この設備により、従来システムにおいてLPGを利用してきた温水発生機を停止することができるため、CO<sub>2</sub>排出量を約4分の1に低減することができます。

## CO<sub>2</sub>排出量の削減

### 実質生産高原単位で大幅な削減を達成

ムラタは2010年度に国内事業所、関係会社におけるCO<sub>2</sub>排出量の実質生産高原単位を1990年度比25%削減することを目標に取り組み、2006年度は38.8%と大幅に削減することができました。しかし、新工場建設にともない、今後エネルギー消費量の増加が見

### CO<sub>2</sub>排出量の推移



込まれているため、2010年度に原単位での目標を達成できるよう継続して削減に取り組んでいきます。

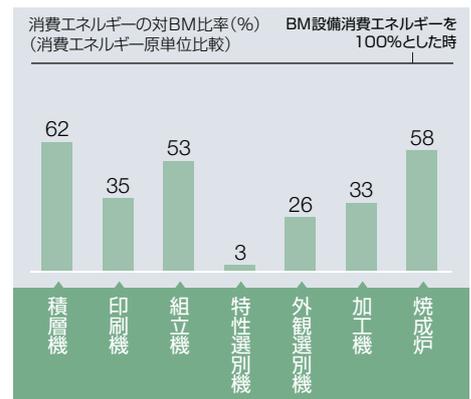
CO<sub>2</sub>排出総量は、生産規模の拡大にともない、2006年度は昨年比5.5%増加しましたが、ダブルバンドルターボ冷凍機をはじめとする高効率機器の導入など、省エネ施策を積極的に進めています。2007年度は、国内だけでなく、海外工場での省エネにも積極的に取り組みます。

### 省エネルギーを実現する生産設備開発

ムラタでは「できるだけ少ないエネルギー、小さい面積で生産できる」設備の開発を進めています。新開発設備と従来稼働していたベンチマークとなる設備(BM機)との、単位製造製品数あたりの消費エネルギーを比較すると、2004年以降に開発した設備はすべて、BM機よりも省エネルギー・省スペースを実現できています。

これらの開発設備を工場に導入したことによる2006年度1年間のCO<sub>2</sub>削減量は、約17,400トン-CO<sub>2</sub>です。これは国内全事業所の1年間のCO<sub>2</sub>全排出量の3.8%に相当します。

### 開発設備の省エネルギー性



## 従業員の声

### 日常業務の中に省エネにつながるヒントがあります

事業所内の空調に必要な冷温水を製造する装置を増強する計画に合わせて、ダブルバンドルターボ冷凍機を採用しました。従来のLPGを使用する装置から、効率のよい電気を使用する装置に変更し、また冷水を製造する過程で発生する排熱を利用して温水を回収することで、年間4,600トンのCO<sub>2</sub>を削減しました。

地球温暖化は人類が直面している大きな環境問題です。企業として、一市民として地球と共生しながら持続的に発展し続けるため、これからも地球温暖化防止に取り組みます。



福井村田製作所  
管理部 環境管理課  
山本 秀一